事業番号	10 02 20	事業改善シート(28年度実施事業分) ロテ算事	要求	口当初予算第	₹ □補正予算	≨案 ■	■点検
事業名		森林(もり)の里親促進事業		部局	林務部		
争未石		(森林づくり県民税活用事業)	担当	課·局·室	信州の木活	<b></b>	
40 A = 1. F	プロジェクト	3-3-3 「環境・エネルギー自立地域の創造」プロジェクト	課	E-mail	ringyo@pre	f.nagan	no.lg.jp
総合5か年 計画	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり					
I		4 様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進		実施期間	H20	$\sim$	H29
人口定着・	信州創生の基本方針	5-1 賑わいある快適な健康長寿のまち・むらづくり					
確かな暮ら	,	4-(2) 信州に根付くつながりの継承					
し実現総	施策展開	(イ) 住民主導による地域の活性化					
合戦略							

## 1 事業の概要

直指す姿 流等、地域の活性化を目指す。(H29までに累計で125件の契約)
○新規契約締結により、森林の里親受入市町村数を増加させる。
○企業等の社会貢献活動に対する関心は高く、平成27年10月末で累計117件(50市町村)の契約がされているが、景気の低迷により新規

## 現状 (予算編成 時)

〇企業等の社会頁献活動に対する関心は高く、平成27年10月末で累計117件(50市町村)の契約がされているが、景気の低迷により新規 契約件数の伸びが鈍化し、既契約企業の契約満了事例も増加傾向にある。

○社会貢献活動に熱心な企業等と、森林整備に意欲のある地域を、長野県の仲介により、里親契約を締結し、協働による森林整備や交

- ○近年、自治体や学校などの多様な組織が里親となる事例もある。
- ○里親を受入れる市町村数を増やすことで地域交流の機会が増加することから、森林の里親受入市町村数を増加させる必要がある。

県が関与 する理由 県関与の必要性あり

【左記の説明、根拠法令等】 長野県森林づくり県民税条例

長野県森林づくり県民税活用事業

県民との協働による実施: 実施中

- ① 成果目標(H28)
- ○長野県総合5カ年計画において、平成29年までに累計で125件の契約締結を目指すこととしているが、平成27年度までに122件の契約が締結されたことから、H28年度は、最近の平均契約数として単年で8件以上の新規契約を結び、累計の契約締結128件を目指す。
- ○協定を締結する市町村数についても、単年度で1市町村増やし、51市町村とする。
- ○県外企業の誘致を図るため、銀座NAGANOで講座を開催する。

② 事業内容

(単位:千円)

成果	目	標	
事業	内	]容	ŀ

7 /10: 4 []					`	1 1-2 1 1 47
項目	字坛七汁	西方法 H28事業実績 ―		Н	H29	
	<b>美旭万伝</b>			(当初)	(決算)	(当初)
企業誘致活動	直接	企業誘致活動(県内外14回)、パンフレット (年3,000部)	801	511	1,106	
銀座NAGANO講座の開催	直接	銀座NAGANOを活用し、首都圏企業誘致を2回開催した。	439	137	134	
			合計	1,240	648	1,240

	<u>N</u>	<u> </u>	分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度
	_	前年度繰越				
	予算		当初予算	1,240	1,240	1,240
事	額		補正予算			
業	13		合計(A)	1,240	1,240	1,240
*	<b>*</b>		一般財源			
П	Aσ		県 債			
7	財源		国庫支出金			
ス			その他	1,240	1,240	1,240
۲	決	Í	算 額(B)	1,035	648	
	概算		職員数(人)	3.25	3.25	3.25
	人件費		概算人件費 (C)	26,897	25,721	25,721
	概算	既算事業費(B(A)+C)		27,932	26,369	26,961

	厄	<b>収果目標の</b>	達成状況			
項目	H26末	H27末	H28			H29
供日	1120/	1121	目標	成果	達成状況	目標
協定締結数 (新規市町村数)	1	1	1	1	達成	1
協定締結件数 (件)	12	10	8	4	未達成	5

目標に対 する成果 の状況 ・新規契約締結の年間目標8件については、契約対象者との調整が叶わず、4件(累計126件)の契約に留まったが、平成29年度までの契約累計目標数125件については前倒しで達成することができた。

・未契約市町村であった青木村で新たに契約が締結され、目標を達成できた。

## 2 今後の事業の方向性

人纵 古兴	△※ 古坐	□ 事業を実施しない □ 事業を見直して実施 ■ 事業を現行どおり実施
	今後、事業 をどのよう	
	こしていき	市町村等から本事業に対する要望も多いことから、引き続き企業等とのマッチングを進めていく。
ľ	たいか	